教育情報

第３回ものづくり日本大賞受賞校

地域を潤す源流を目指して

山形県立長井工業高等学校長　渡部　慶蔵

１．はじめに

山形県置賜地域の北西部に位置する人口約３万人の地方都市，「水と緑と花のまち・ながい」。古くは一大海運港『酒田』から最上川を経由し，米沢に至る舟運ルートの最終港として米沢上杉藩の物資輸送を支えた商業都市の歴史もある。本校はこの長井市に昭和37年４月に開校。今年で47周年を迎えた。開校当時は，我が国が先進国への仲間入りを示す，アジアで初めての東京オリンピック開催を控え，国全体が活気づいていた。産業の更なる発展を期し，全国各地に工業高校が林立した時期でもある。山形県内にも本校を含め前後して４校の工業高校が開校した。以来，本校は今日まで地域の特性や産業界の変化に対応しながら，有為な人材を輩出し，その数は八千余名となっている。平成12年に学科改編を行い，機械システム科，電子システム科，環境システム科，福祉情報科の４学科，１学年160名の定員となった。平成14年４月，現在の校舎を新築し今日に至っている。

２．本校の教育目標

①　責任感と協調性を重んじ，礼儀正しく思いやりのある，心身共に健康な人間の育成
「人間性の育成」

②　技術の基礎・基本と確かな学力を定着させ，創造力豊かで実践力のある逞しい人間の育成
「創造性の育成」

③　環境に配慮した「ものづくり」と地域に根ざした教育活動をとおして，社会の発展に貢献できる人間の育成　「社会性の育成」

３．これまでの取組

①　駅舎待合室及び駐輪場の建設

第三セクター山形鉄道「フラワー長井線」あやめ公園駅舎の待合室と駐輪場を建設し，その後も生徒会が中心となって駅舎周辺の環境整備と美化活動を継続的に行い，平成19年に国土交通大臣表彰受賞。

②　企業と連携した資格取得

旋盤，建築配管，木工，電子回路組立等の技能検定，QC検定等において企業や関係機関より講師を招聘。

③　ボランティア活動の推進

隣接する「あやめ公園駅」の美化活動，全校生徒によるあやめ公園清掃活動や各種イベントにおける「おもちゃの病院」の開設，ロボット教室，出前測量，木製プランターによる町内美化活動（今年度実施予定）等，工業技術を活かしたボランティア活動の実践。

④　企業と共同した「課題研究」

二足歩行ロボットの開発，水田除草ロボット（デジガモ），福祉自助具等の開発，ロボット人形焼き器の製造と販売，水車発電利用等。

⑤　ものづくりコンテスト

県内工業高校生ものづくりコンテストについては参加した全ての種目において上位入賞。（平成21年度）

４．地元企業や地域社会に支えられて

長井市周辺には現在300社余りの中小企業がある。職種は金型設計製作，プレス加工をはじめとする機械加工，電気機器関連，情報機器関

係など多岐にわたる。これらの企業は，市が用地を無償譲渡して大手コンデンサーメーカーを誘致し，この企業を中心とした企業城下町が形成されたことに始まる。そのため，この企業関連の下請けとして創業を始めた企業が多い。さらに，プラスチック成形や光学機器を扱う企業など多種多様な企業が存在していることも大きな特徴である。これらの中小企業の創業者の中には本校第１回～第５回の卒業生が数多く含まれており，物心両面にわたり本校を支えていただいている。

特に，長井市産業の中心となっていた大手コンデンサーメーカーの撤退から端を発した地域製造業界の不振と学校存続問題との時期が重なった時，改めて本校が重要な人材育成拠点であるとの認識のもと「NAGAI次世代マイスター育成事業」を通じて地域企業から機械設備や測定機器類の提供，更には第一線で活躍する技能士の技術支援を受け，県内初の技能検定３級合格者を出し，今日に続いていることは特筆すべきことである。

近年の進路状況は，６割が就職し，その内の９割以上が地元の企業に勤めることから，将来地元の産業界はもとより地域社会を担う人材となることを願い「長工生よ地域を潤す源流となれ！」をスローガンに掲げている。

本校はこのスローガンのもと，ものづくりへの興味関心を高め，地域への誇りと愛着を育み，身に付けた専門技術や技能を遺憾なく発揮し，更なる地域の発展や活性化に貢献できる工業人の育成に努めてきた。

特に工業技術やものづくりへの興味関心を高めるために取り組んでいる資格取得では，企業との連携を図りながら高校生としては全国初のQC検定２級合格者が出るなどの成果が見られた。また，「課題研究」では企業との共同研究による二足歩行ロボットやマイコンカーラリー，除草ロボット研究開発，福祉関係の自助具の研究開発などに取り組んでいる。

５．おわりに

この度本校の教育活動が評価され，栄えある「ものづくり日本大賞・青少年育成部門」文部科学大臣賞を受賞したことは，教職員一同，大きな喜びと共に，身の引き締まる思いである。

これは，言うまでもなく，本校開校から現在に至るまでに関わった数多くの生徒，卒業生，教職員，地域産業界が一体となり地道な努力を積み重ねてきた取組の成果であり，３年後に迎える創立50周年に向けて大きな励みとなった。

受賞を期に今後とも地域から必要とされ信頼される学校として，自分が生まれ育った地域を愛し，地域社会に貢献できる有為な人材の育成に努めていきたいと考えている。